

2023 年 7 月 3 日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【繊維・紙・パルプ】他社牽制力ランキング 2022

トップ 3 は東レ、東洋紡、王子 HD、帝人

弊社はこのほど「繊維・紙・パルプ業界」の特許を対象に、2022 年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「繊維・紙・パルプ業界 他社牽制力ランキング 2022」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において、競合他社が権利化する際に阻害要因となる「先行技術」を多数保有している先進企業が明らかになります。

集計の結果、2022 年に最も引用された企業は、1 位 東レ、2 位 東洋紡、3 位は同数で王子ホールディングス、帝人となりました。

【繊維・紙・パルプ業界 他社牽制力ランキング 2022 上位 10 社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	東レ	1,646
2位	東洋紡	639
3位	王子ホールディングス	489
3位	帝人	489
5位	大王製紙	411
6位	ユニチカ	279
7位	日本製紙	174
8位	三菱製紙	164
9位	3M	156
10位	グンゼ	136

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2022 年 12 月までに公開された全特許のうち、2022 年 1 月～12 月末の期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を対象に、抽出・集計を行っています。

また本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2023 年 5 月時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

なお各企業の業種につきましては、総務省の日本標準産業分類等を参考に分類しています。

1位 東レの最も引用された特許は「接合強度が高く、気密性に優れた部材を接合した樹脂複合成形体」に関する技術で、GOERTEK の計 6 件の審査過程で引用されています。このほかには「生体信号検出衣料」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、東洋紡などの計 4 件の拒絶理由として引用されています。

2022 年に、東レの特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は三菱ケミカル (53 件)、次いで東洋紡 (47 件) となっています。

2位 東洋紡の最も引用された特許は「高温又は高温高湿環境下で発生する偏光板／液晶セル／偏光板からなる積層体の反りを軽減した液晶表示装置」に関する技術で、SHANJIN OPTOELECTRONICS などの計 5 件の審査過程で引用されています。

2022 年に、東洋紡の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は大日本印刷 (28 件)、次いで三菱ケミカル (27 件) です。

3位 王子ホールディングスの最も引用された特許は「微細セルロース纖維含有樹脂組成物」に関する技術で、古河電気工業の計 4 件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2022 年に、王子ホールディングスの特許により影響を受けた件数が最も多い企業は大王製紙 (43 件)、次いでユニ・チャーム (39 件) となっています。

帝人の最も引用された特許は「非水系二次電池用セパレータ及び非水系二次電池」に関する技術で、積水化学工業など計 3 件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2022 年に、帝人の特許により影響を受けた件数が最も多い企業は東レ (25 件)、次いで日東電工 (17 件) となっています。

* * *

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【纖維・紙・パルプ業界 他社牽制力ランキング 2022 データ】

▶納品形態：以下のデータを収録したエクセルファイルをメールで御納品※

(※データー式を収録した CD-R での御納品をご希望の場合はご相談ください)

・ランキング トップ 50 社：本業界の被引用件数上位 50 社のランキング

・被引用件数 トップ 100 件：本業界の被引用件数上位 100 特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000 円（税抜）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

URL : <https://www.patentresult.co.jp/>

e-mail : info@patentresult.co.jp